

平成 19 年 5 月 24 日
水道・交通委員会資料
交 通 局

バス営業所における窃盗事件について

緑営業所職員による市営バスの売上金の窃盗事件に関して、事件の概要、内部調査等の状況及び再発防止策等について報告致します。

1 事件の概要

平成 19 年 4 月 23 日に自動車部北部サービスセンター緑営業所操車掛(配車担当職員)職員(以下「当該人」と記載。)がバス売上金の窃盗容疑で逮捕されました。警察によると、平成 18 年 10 月頃(当時保土ヶ谷営業所所属、18 年 12 月 11 日緑営業所へ異動)から、勤務時間中に営業所の金庫回収機の扉を所内保管の鍵で開け、中にある現金を収めたコンテナの上蓋を文房具で開ける方法により、窃盗を続けていたというものです。

当該人も容疑を認めており、平成 19 年 5 月 21 日に起訴されました。

2 当該人の処分について

交通局では、逮捕後、平成 19 年 4 月 27 日に接見して当該人が容疑を認めていることを確認し、同年 5 月 21 日に起訴に至ったことが翌日 5 月 22 日に確認されたため、同日付で当該人を懲戒免職処分としました。

3 事件の経緯等について

(1) 経緯

平成 18 年 8 月に自動車部で 7 月分の運輸成績報告書を作成するにあたって、浅間町営業所分で、減少理由が見当たらないのに現金乗車分の収入金額の落ち込みが確認されたため(別紙 1 参照)、通常は突合しない各車両の料金箱に記録されたデータ(±5%程度誤差あり)を集約し、実際に収納された金額との比較を行ったところ、誤差では説明しがたい差(約 550 万円)があることが判明しました。

これを受け直ちに自動車部内調査チームにより、営業所別データ等の解析をするとともに、浅間町営業所への宿泊調査等を行いました。原因を特定するに至らないまま数値の不整合が収束しました。その後、同年 12 月に保土ヶ谷営業所の 10 月～12 月分で不整合(約 200 万円)、平成 19 年 2 月に緑営業所で 12 月分からの不整合(約 200 万円、4 月中旬までを含めると約 360 万円)が発生しました。このため、同年 3 月に全営業所を対象に過去 3 年(16 年 4 月～19 年 2 月分、別紙 2 参照)のデータを検証し、その結果、データの不整合が人為的な問題事象の可能性もあると判断し、3 月 19 日に神奈川県警察本部に捜査を要請しました。

(2) 問題点

本件は、お客様からいただいた大切な料金を保管しているという職員の意識が十分でなかったこと、18 年 8 月にデータの不整合を認識して以降、調査の対応方針が不明確で場当たり的な対処であったこと、営業所でのデータ照合を誰がいつ何を指示し、指示事項が徹底されているかどうかなどの確認が十分でなかったなど、明確なマネジメントがなされていなかったことが、拡大を抑止できなかった最大の問題であると考えています。

4 再発防止に向けた内部調査について

逮捕後、当該人から犯行の方法等の聴取を行ったほか、事実関係を解明し、同様の事件を二度と起こすことのないよう、関係職場の職員へのアンケートやヒアリングなど内部調査を進めています。

調査結果を踏まえ再発防止策を策定し可能なものから実施致します。

(1) 無記名アンケートの実施

○調査概要

- ・目的 バス売上金にかかる営業所事務の取扱いの実態を把握し改善等を図ること
- ・期間 平成19年5月2日～5月11日
- ・対象者 平成15年度以降、自動車部においてサービスセンター又は営業所に係員として在籍した者及び係長職以上として在籍した者165人(回答者数158人)

○主な調査結果

- ・金庫回収機の扉の鍵の管理は、①日中は庶務掛、早朝深夜は助役が携帯[約64%]、②事務所内の決まった場所に保管[約9%]、担当業務外でわからない[約22%]などでした。
- ・紙幣詰まりなど金庫回収機のトラブルが発生した場合、①トラブルのないもう一方の金庫挿入口を使用し業者に連絡[約49%]、②複数人立ち会いでコンテナを何らかの方法で開けて詰まりを取るなど①以外の取扱いをした[約13%]、担当業務外でわからない[約35%]などでした。
- ・新聞報道による犯行方法(文房具でコンテナを開ける)を知っているかの質問は、①知らない[約55%]、②知っている[約32%]、③他の人から聞いたことがある[約9%]などでした。

(2) ヒアリング調査の実施

○調査概要

- ・目的 再発防止策の検討に向け詳細情報及び管理職員の認識の把握を行うこと
- ・期間 平成19年5月17日～(調査中)
- ・対象者 平成15年度以降、公金取扱い事務がある営業所等に在籍した経験がある交通局の係長職以上の者39人 ※今後係員のヒアリングを行う予定です。

○調査結果

- ・現在集計中です。

5 調査等に対応して実施する再発防止策について

現時点で把握している調査結果などを踏まえ、緊急に次の対策を講じます。

(1) 再発防止策

- ・金庫回収機の鍵の保管やトラブル時の処理などで全営業所統一したマニュアルを作成します。
- ・金庫回収機の解錠(トラブル時等)の記録を義務付けるよう改めます。
- ・全営業所のコンテナの鍵を交換しました。(5月2日までに全営業所完了)

(2) 実施年月日

平成19年6月1日

6 その他の対応について

(1) 管理監督者等の処分

管理監督者を含む関係職員に対しては、今後、調査の結果や今回の問題の対処方法を踏まえ、厳正に対処してまいります。

(2) 警察への捜査協力等

引き続き警察の捜査に全面的に協力します。また、他の営業所で生じているデータの大きな不整合の原因は依然不明であるため、関連捜査を行うよう、県警察本部に要請しています。

7 添付資料

- (1) 営業所別車内利用実績(18年7月) 【別紙1】
- (2) 現金収入金額と料金箱データの推移 【別紙2】
- (3) 横浜市営バスの運賃(現金)とデータの回収フロー図 【別紙3】

【参考】これまでの主な経過

年 月 日	対 応
平成 18 年 8 月 24 日	浅間町営業所の現金収入金額が前年度に比べて大きく落ち込んでいることが判明
8 月 25 日	① 自動車部内に調査チームを作り、次の点を確認 ○ 過去に遡って確認することとして、まず 17 年 4 月以降の月別・営業所別の現金収入と料金箱のデータの比較を行った。出力されたデータにより確認したところ、データと現金の大きな乖離が見受けられたのは、野庭、本牧、浅間町であった。 ○ データそのものの信頼性を確認するため、料金箱の製造メーカーに問い合わせたところ、誤差(±5%程度)が生じる可能性があることがわかった。 ○ 18 年 7 月分の全営業所のデータにおいては、浅間町営業所で、現金収入金額とデータに顕著な不整合(約 550 万円)があることが判明した。野庭営業所は 18 年 3 月末に営業所を閉鎖しており確認することが困難、本牧営業所は誤差が一定の期間で収まっていた。 ② 総務課を経由して局長に電話で報告 ③ 所轄警察署に相談 ④ 浅間町営業所の金庫管理状況等を調査
8 月 26 日	浅間町営業所に宿泊調査(異常見られず)
8 月 28 日	浅間町営業所の料金の不整合について、全サービスセンター長及び全営業所長を集め説明し、毎日の収入額と日計データの突き合わせを指示
10 月上旬	18 年 9 月分の現金収入金額とデータについては、全営業所において異常なしと確認 浅間町営業所における不整合は 8 月末の調査以後、収束
10 月 5 日	営業課長から全サービスセンター長及び全営業所長に、日計データの検証継続を指示
12 月 4 日	営業課長から全サービスセンター長及び全営業所長に、18 年 11 月分のデータ照合結果を報告するよう指示
12 月上旬	保土ヶ谷営業所長が、18 年 10 月から 11 月まで不整合(約 150 万円)が生じていることを営業課に報告
12 月 11 日	営業所係員 29 人の人事異動 (今回の逮捕者は、保土ヶ谷営業所から緑営業所に異動)
12 月中旬	保土ヶ谷営業所の不整合収束を確認
平成 19 年 2 月下旬	緑営業所長が、19 年 2 月分に不整合が生じていることを営業課に報告 営業課において調査したところ、18 年 12 月から調査時点までで約 200 万円の不整合が生じていることが判明
3 月 2 日	安全マネジメント評価に向けた点呼立会を理由として、自動車部管理職(係長以上)が全営業所に宿泊調査(原因を特定できず)
3 月 12 日	全営業所の過去 3 年(16 年 4 月分~19 年 2 月分)を検証し、これまでの一連の不整合の状況を総括 (1) 浅間町営業所 約 3,000 万円(17 年 10 月~18 年 8 月) (2) 保土ヶ谷営業所 約 200 万円(18 年 10 月~12 月) (3) 緑営業所 約 200 万円(18 年 12 月~19 年 2 月) ※ 緑営業所 4 月 12 日現在までで、約 360 万円
3 月 16 日	局内に総務部長をリーダーとする内部調査チームを設置(注) ○ 現金収入金額とデータの不整合の生じる理由やデータの利用状況等について自動車部の調査を開始 ○ 営業課からの提出書類等の確認及びヒアリングを行った。
3 月 19 日	神奈川県警本部に捜査を要請
4 月 23 日	緑営業所職員を逮捕
5 月 21 日	緑営業所職員を起訴
5 月 22 日	緑営業所職員を懲戒免職処分

(注) 局内部調査チームメンバーは、調査事案に応じて順次増強し、現在は総務課、職員課、財務課の職員 10 名で構成

営業所別車内利用実績(18年7月)

別紙1

単位:千円

単位:両

単位:円

区分	車内利用実績			運転車両数			1車平均			
	17年度	18年度	増減率	17年度	18年度	増減率	17年度	18年度	増減率	
現金収入	保土ヶ谷	55,393	54,701	▲1.2%	2,479	2,473	▲0.2%	22,345	22,119	▲1.0%
	若葉台	34,933	35,053	0.3%	1,747	1,716	▲1.8%	19,996	20,427	2.2%
	浅間町	47,386	39,602	▲16.4%	2,108	2,073	▲1.7%	22,479	19,104	▲15.0%
	緑	55,972	53,883	▲3.7%	2,509	2,509	0.0%	22,309	21,476	▲3.7%
	港北NT	42,855	37,115	▲13.4%	2,093	1,693	▲19.1%	20,475	21,923	7.1%
	磯子	36,799	37,200	1.1%	2,036	1,979	▲2.8%	18,074	18,797	4.0%
	滝頭	41,237	40,846	▲0.9%	2,322	2,236	▲3.7%	17,759	18,268	2.9%
	本牧	51,480	50,678	▲1.6%	2,301	2,301	0.0%	22,373	22,024	▲1.6%
	港南	31,032	36,666	18.2%	1,421	1,684	18.5%	21,838	21,773	▲0.3%
	野庭	22,940	0	▲100.0%	1,229	0	▲100.0%	18,666	#DIV/0!	#DIV/0!
	港北	55,088	55,558	0.9%	2,255	2,238	▲0.8%	24,429	24,825	1.6%
	鶴見	45,735	46,072	0.7%	2,259	2,259	0.0%	20,245	20,395	0.7%
計	520,850	487,374	▲6.4%	24,759	23,161	▲6.5%	21,037	21,043	0.0%	
カード利用実績	保土ヶ谷	91,435	93,713	2.5%	2,479	2,473	▲0.2%	36,884	37,894	2.7%
	若葉台	85,647	86,237	0.7%	1,747	1,716	▲1.8%	49,025	50,255	2.5%
	浅間町	75,707	74,320	▲1.8%	2,108	2,073	▲1.7%	35,914	35,851	▲0.2%
	緑	83,089	85,351	2.7%	2,509	2,509	0.0%	33,116	34,018	2.7%
	港北NT	87,673	79,581	▲9.2%	2,093	1,693	▲19.1%	41,889	47,006	12.2%
	磯子	58,977	62,844	6.6%	2,036	1,979	▲2.8%	28,967	31,755	9.6%
	滝頭	58,424	61,973	6.1%	2,322	2,236	▲3.7%	25,161	27,716	10.2%
	本牧	72,215	72,248	0.0%	2,301	2,301	0.0%	31,384	31,398	0.0%
	港南	54,362	65,713	20.9%	1,421	1,684	18.5%	38,256	39,022	2.0%
	野庭	45,672	0	▲100.0%	1,229	0	▲100.0%	37,162	#DIV/0!	#DIV/0!
	港北	83,159	85,763	3.1%	2,255	2,238	▲0.8%	36,878	38,321	3.9%
	鶴見	68,289	69,317	1.5%	2,259	2,259	0.0%	30,230	30,685	1.5%
計	864,649	837,060	▲3.2%	24,759	23,161	▲6.5%	34,923	36,141	3.5%	
合計	保土ヶ谷	146,828	148,414	1.1%	2,479	2,473	▲0.2%	59,229	60,013	1.3%
	若葉台	120,580	121,290	0.6%	1,747	1,716	▲1.8%	69,021	70,682	2.4%
	浅間町	123,093	113,922	▲7.5%	2,108	2,073	▲1.7%	58,393	54,955	▲5.9%
	緑	139,061	139,234	0.1%	2,509	2,509	0.0%	55,425	55,494	0.1%
	港北NT	130,528	116,696	▲10.6%	2,093	1,693	▲19.1%	62,364	68,929	10.5%
	磯子	95,776	100,044	4.5%	2,036	1,979	▲2.8%	47,041	50,552	7.5%
	滝頭	99,661	102,819	3.2%	2,322	2,236	▲3.7%	42,920	45,984	7.1%
	本牧	123,695	122,926	▲0.6%	2,301	2,301	0.0%	53,757	53,422	▲0.6%
	港南	85,394	102,379	19.9%	1,421	1,684	18.5%	60,094	60,795	1.2%
	野庭	68,612	0	▲100.0%	1,229	0	▲100.0%	55,828	#DIV/0!	#DIV/0!
	港北	138,247	141,321	2.2%	2,255	2,238	▲0.8%	61,307	63,146	3.0%
	鶴見	114,024	115,389	1.2%	2,259	2,259	0.0%	50,475	51,080	1.2%
計	1,385,499	1,324,434	▲4.4%	24,759	23,161	▲6.5%	55,960	57,184	2.2%	

現金収入金額と料金箱データの推移

別紙 2

現金収入金額 (A)

Table (A) showing monthly cash income data from April to February for the years 16年度 through 18年度. Columns include month, category, and amount. Total values are shown at the end of each year's data.

料金箱データ (B)

Table (B) showing monthly data for fare boxes from April to February for the years 16年度 through 18年度. Columns include month, category, and amount. Total values are shown at the end of each year's data.

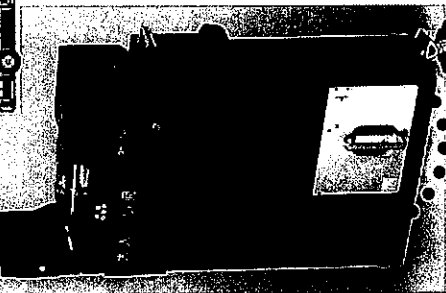
差引 (A-B)

Table (C) showing the difference between cash income and fare box data (A-B) from April to February for the years 16年度 through 18年度. Columns include month, category, and the calculated difference.

横浜市営バスの運賃(現金)とデータの回収フロー図

別紙3

【料金箱】



1

バス車内・・・お客様が現金・バス共通カードで運賃をお支払い
① 「料金箱」に現金を投入(均一区間 大人210円、小児110円)
→ 投入された現金額のデータを「金庫」が記憶
② 「料金箱」にバス共通カードを挿入(運賃額をカードから差引)
→ バス共通カードから差し引いた運賃のデータを「金庫」が記憶

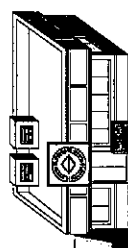
2



【金庫】

営業所内・・・乗務を終えた乗務員が、「金庫」を「金庫回収機」に装着

① 「金庫」に収納された現金を回収
→ 「金庫回収機」内部に装填されている「コンテナ」に現金を収納(紙幣・硬貨は別々の「コンテナ」に収納)
② 「金庫」が記憶しているデータを「金庫回収機」へ転送
<転送されるデータ>
→ 「料金箱」に投入された現金額(「金庫」へ収納された現金額とは異なる)
→ 「料金箱」でバス共通カードから差し引いた運賃



3

「コンテナ」内の現金は、翌日銀行(指定金融機関)へ搬送
① 営業所窓口等で販売した乗車券売上金とともに、委託業者が銀行へ搬送
② 銀行で「コンテナ」を開き、収納された現金を勘定(検銭)
③ 交通局職員立会のもとで、収納された現金額を確定
→ 「自動車乗車料等受入通知書」を発行
→ 「自動車乗車料等受入通知書」に基づき収入額を確定(調定)

4

「金庫回収機」内のデータは、日次又は月次で処理
① バス共通カードから差し引いた運賃のデータ
→ バス共通カードの事業者間清算のために使用
② 「料金箱」に投入された現金のデータ
→ 系統別収入目標の管理など経営分析のために活用

【金庫回収機】

【コンテナ】